

千代田区長 様

学 校 名 東京家政学院大学
所 在 地 千代田区三番町22番地
代 表 者 名 理事長 吉武 博通

「千代田学」に関する区内大学等の事業提案制度 事業実施提案書

「千代田学」に関する区内大学等の事業提案制度要綱に基づき、以下の事業について千代田区から同補助金の交付を受けたいので、同要綱第5条第1項の規定に基づき提案します。

事業名	千代田区におけるSDGs達成に向けた共創的な食育推進に関する研究
-----	----------------------------------

研究代表者	氏 名	加藤 理津子
	所属・学位	東京家政学院大学 人間栄養学部 人間栄養学科 東京医科大学大学院博士課程単位修得満期退学 博士（医学）
	専 門 研 究 活 動 分 野	実践応用栄養学に関する研究
	連絡先	電話番号：03-3262-2251 E-mail: r.kato@kasei-gakuin.ac.jp

	氏名	所属・学位	役割分担
研究者・協力者	酒井 治子	東京家政学院大学 人間栄養学部 人間栄養学科 教授 女子栄養大学大学院栄養学研究科博士 後期課程修了 博士（栄養学）	大学における体験プログラム開発に関わる調査研究
	會退 友美	東京家政学院大学 人間栄養学部 人間栄養学科 助教 お茶の水女子大学大学院博士後期課程 修了 博士（学術）	海外における和食文化に関するフィールド・ワーク、大学における体験プログラム開発に関わる調査研究
	井野 睦美	東京家政学院大学 人間栄養学部 人間栄養学科 助手 東京農業大学大学院博士前期課程修了 修士（食品栄養学）	大学における情報ツール開発に関わる調査研究

【添付書類】

第1号様式の1 事業実施計画書

第1号様式の2 経費見積書

提案事業の実績

※提案事業の実績を分かりやすく具体的に記入してください。

(過去の事業成果、区との関わり等)

本学では、これまでに千代田区内の地域資源を活用した和食文化の情報発信ツール「千代田区和食文化体験プラットフォームマップ ーたべちヨダー (<https://tabechiyoda.com/>)」の開発を行い、このツールを介して広く千代田区内の和食文化に関する情報を発信し続けている。開発にあたっては、平成31年度から令和2年度に「キャリアデザイン活動」(担当教員:酒井治子、會退友美)を履修した学生が、若い世代の視点から和食文化を千代田区内で親子がふれあい・学び合いながら体験できる場を探索し、取材をするフィールド・ワークを行った。令和3年度では情報発信ツールのさらなる活用を目指し、学生が和食文化を継承する地域店舗と共同で商品を開発し、中学生に対してその商品を活用した和食文化・芸術の体験プログラムを実施した。

一方、海外への情報発信については、平成31年度より開講した管理栄養士の育成に特化した「海外専門研修(栄養学)」(担当教員:加藤理津子)にて実施している。本授業は、異文化体験や英語によるプレゼンテーション、現地の専門家との交流を通じて、人間栄養の観点から日本の文化・社会制度だけでなく異文化を理解する力や、目標達成に向けた企画力、表現力、マネジメント能力、コミュニケーション能力を磨くとともに、栄養管理の国際的動向、国際貢献に関する理解を深めることを目的としている。履修した学生は、研修先で自国の紹介を行うことを目的に和食文化や日本における食育制度について調査し、英語にて調査内容をまとめデジタル化した。この研修を通し、自分たちが暮らす日本の文化や制度についても興味・関心を高める機会となっている。研修の実施にあたってはイタリア文化会館(千代田区九段南2-1-30)およびミラノ大学との連携体制を構築している。

以上のことから、本事業が目指すSDGsの観点から取り組む「持続可能な食を支える食育の推進および新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進(第4次食育推進基本計画 農林水産省)」、食育ツールの制作および世界に向けた情報発信の実現への準備が整っている。

「千代田学」における成果・実績

※実施年度を記入してください。

本学では、平成31年度より千代田区の文化芸術振興の基本方針に即し、地域性・文化芸術資源を活用した「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち」の創造に向け、若い世代への和食文化継承や和食文化を支える地域店舗の発展に寄与する活動を行ってきた。

平成31年度(令和元年度)千代田学:千代田区における和食文化体験・交流資源の教材化に関する研究 ー「千代田区和食文化体験・交流プラットフォームマップ」の開発・発信ーでは、平成25年にユネスコ無形文化財に登録された「和食文化」を取り上げ、千代田区における和食体験の地域資源発掘や教材化に関する実践的研究を通し、「千代田区和食文化体験プラットフォーム」の開発を目的とした研究活動を行った。学生が、子育て世代が身近に体験でき、親子のふれあい・学び合いの場となる拠点を探索し、取材をするフィールド・ワークを行った。また情報発信ツールとしてホームページ「千代田区和食文化体験プラットフォームマップ ーたべちヨダー」を立ち上げた。

令和2年度千代田学:千代田区における和食文化体験・交流資源の開発と活用に関する研究では、前年度の千代田学で開発したプラットフォームマップを発展させ、新たな開発と活用に向けた体験活動の研究を進めた。「キャリアデザイン活動」履修学生が主体となって、プラットフォームマップで紹介した千代田区内店舗の和の食材や素材等を活用し、日本の年中行事の行事食を千代田区の親子が作って食べる機会を提供するワークショップの企画を行った。

令和3年度千代田学:千代田区における和食文化・芸術の体験プログラム開発に関する研究では、これまでの成果物であるプラットフォームマップを地域資源の循環に活用することを目指し、若い世代を対象とした和食文化と芸術の体験プログラムを開発した。具体的には、プラットフォームマップに掲載した店舗と本学学生が共同で新商品の開発を行い、開発した商品をもとに生徒に新商品の紹介記事やイラストの制作を体験できる機会を提供した。生徒の情操教育をはじめ、生徒の地域への愛着心、学生における共同の精神や管理運営能力などの育成、地域資源の活性化に貢献できる事業とした。

以上、本学の事業は、地域資源である店舗とともに新たな食文化の担い手の育成や発掘、地域の活性化を通し、「ちよだみらいプロジェクト(平成27~36年度)」の取り組み、千代田区のブランド力向上に貢献できたと考える。

研究者の実績

※研究者の実績を分かりやすく具体的に記入してください。

(千代田区及び他自治体での活動実績等)

【研究代表者 加藤理津子】

平成 14 年 5 月 足立区非常勤管理栄養士 (平成 17 年 3 月迄)
平成 20 年 10 月 千代田区立九段小学校特別非常勤講師 (平成 31 年度迄)
平成 28 年度東京都食生活改善普及運動:「野菜たっぷりバランス弁当」の作成
平成 28 年 3 月 エコ・クッキング指導者
平成 29 年度東京都食生活改善普及運動:「野菜たっぷりランチレシピ」の作成
令和 3 年度千代田学:千代田区における和食文化・芸術の体験プログラム開発に関する研究

【研究協力者 酒井治子】

平成 25 年 4 月 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「認定こども園保育専門委員会委員 (26 年 3 月迄)
平成 28 年 7 月 東京都中央区 「健康中央 21」 策定委員会 副委員長 (現在に至る)
平成 28 年 9 月 農林水産省 平成 28~30 年度「和食」と地域食文化継承推進事業のうち「子育て・若者世代への和食文化普及推進事業」普及推進検討会委員 (平成 31 年 3 月まで)
令和元年 7 月 農林水産省 「和食」と地域食文化継承推進事業 (和食文化継承の人材育成等事業) 検討会委員 (現在に至る)
令和元年 7 月 千代田区文化芸術プラン (第四次) 策定検討会議 副委員長 (現在に至る)
酒井治子他:平成 24 年度 千代田学 研究報告書「食を通じた多世代間のふれあい・学びあい・育てあい千代田プロジェクトの構築」,平成 25 年 3 月
農林水産省:『和食育』,「和食」を切り口とした子育て世代の地域を通じた食育推進,平成 30 年 3 月
平成 29 年度食育推進施策『食育白書』:管理栄養士を目指す学生への和食継承を切り口にした食育の企画力向上の取組,121,2018
平成 31 年度千代田学:「千代田区における和食文化体験・交流資源の教材化に関する研究ー千代田区和食文化体験・交流プラットフォーム」の開発・発信ー
令和 2 年度千代田学:「千代田区における和食文化体験・交流資源の開発と活用に関する研究」
令和 3 年度千代田学:千代田区における和食文化・芸術の体験プログラム開発に関する研究

【研究協力者 會退 友美】

花岡 沙由里・酒井治子・會退友美他:子どもを対象にした料理教室における食育プログラムー食材の知識向上と仲間同士の協同性に着目してー 東京家政学院大学紀要 (58):107-115,2018
平成 31 年度千代田学:「千代田区における和食文化体験・交流資源の教材化に関する研究ー千代田区和食文化体験・交流プラットフォーム」の開発・発信ー
令和 2 年度千代田学:「千代田区における和食文化体験・交流資源の開発と活用に関する研究」
令和 3 年度千代田学:千代田区における和食文化・芸術の体験プログラム開発に関する研究

【研究協力者 井野 睦美】

平成 22 年 4 月 埼玉県学校栄養職員 (平成 27 年 3 月迄)
令和 3 年度千代田学:千代田区における和食文化・芸術の体験プログラム開発に関する研究